

# 三田尻中関港港湾計画（改訂）

## 1 三田尻中関港への要請

三田尻中関港は、山口県瀬戸内海沿岸の中央部に位置し、背後に三田尻平野を擁しつつ、江戸泊半島及び向島に囲まれた天然の良港であり、陸上交通の至便さと相まって海陸交通における要衝となっており、昭和34年には重要港湾に指定された。

今後、産業拠点港湾として背後圏立地企業の国際競争力の向上に資するには、近年の完成自動車を中心とした外貿一般貨物や外貿コンテナ貨物の増加、及び船舶の大型化、荷役の効率化などへの対応が不可欠であり、産業活動を支えるための物流機能を再編・強化する必要がある。

三田尻地区及び中関地区においては、高波による荷役効率の悪化や台風による背後施設の被災の発生など、港内の静穏が確保されていない状況にあり、その対策が必要となっている。また、近年における貨物のコンテナ化の進展に対応した施設拡充と併せて、貨物輸送を円滑に行うため、港湾と背後地域の良好なアクセスを確保する必要がある。

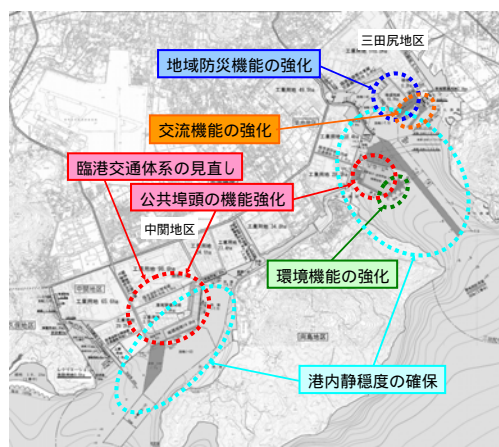
一方、三田尻中関港の水際線は、そのほとんどが工業用地や物流施設で占められ、気軽に海に近づけない状況にあり、地域住民等が港に親しみ、憩う空間の確保が求められている。また、港湾直背後の防府市では周防国府として栄えた時代からの数多くの史跡や文化財、参勤交代にも利用された萩往還路などの歴史資源が多数存在しており、これら背後の歴史や文化の集積を生かし、これらと一体となった交流拠点の形成を図る必要がある。

さらに、近年芸予地震や福岡西方沖地震など、山口県の隣県を震源とする大規模地震が頻発しており、同様に県内に存在する活断層による直下型地震や周防灘及び伊予灘を震源とする地震が、近い将来発生することが懸念されている。よって、これらの地震発生時における緊急物資輸送のため、県央部の海上拠点としての機能を確保する必要がある。

## 2 計画の基本方針

瀬戸内海有数の産業地域である背後圏のさらなる活性化のために世界に発信する自動車産業を中心とした国際競争力を支える産業拠点港として、物流機能の再編・強化を図る。また、背後の歴史や文化を活かした歴史的交流港湾として、地域住民等がまちの歴史や魅力を実感でき、さらに、海に親しみ憩えるにぎわい空間の創出を行う。このため、物流、交流、環境、安全の4つの機能を融合させ、活力と魅力のあるみなとを実現し、「歴史と産業の交わるみなと」を目指すため、平成30年代前半を目標年次として、以下のように方針を定め、港湾計画を改訂する。

- (1) 公共埠頭の機能強化
- (2) 臨港交通体系の見直し
- (3) 地域防災機能の強化
- (4) 交流機能の強化
- (5) 環境機能の強化
- (6) 港内静穏度の確保



港湾管理者連絡先：山口県土木建築部港湾課

すぎやま つしはた  
杉山、辻畠 (TEL : 083-933-3817 FAX : 083-933-3829)

### 3 三田尻中関港の位置



### 4 主な計画内容

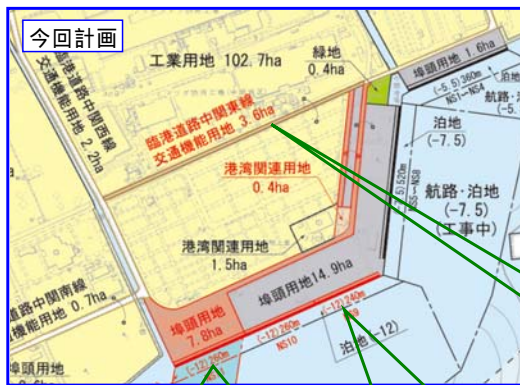
#### コンテナ貨物・完成自動車取扱機能の強化

- ・中関地区において、急増する外貿コンテナ貨物に対応するため埠頭用地を拡張し、大型自動車専用船の入港に対応するため、(-12m)岸壁を新たに計画する。
- ・完成自動車の移動の効率化及び安全性の向上を図るため、臨港道路をモータープール背後に付け替える。



船舶の先端部が岸壁延長から飛び出している

バース延長の不足に対応するため係船柱を海上に設置



完成自動車の埠頭用地への移動状況  
完成自動車の移動にあたって臨港道路の交通を遮断

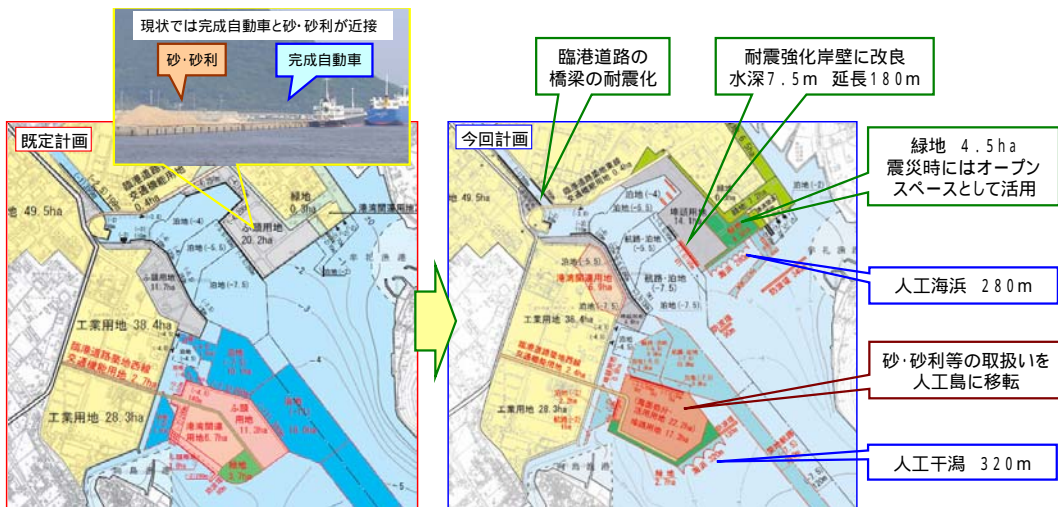
自動車専用船対応岸壁  
水深12m 延長260m

自動車専用船に加え、  
外貿コンテナ船対応とする

臨港道路の付け替え

## 地域防災機能・交流機能・環境機能の強化

- ・三田尻地区において地震時における山口県中部の防災拠点確保のため、耐震強化岸壁、オープンスペース、臨港道路の橋梁の耐震化を計画する。
- ・砂、砂利等の飛散による環境及び交流空間への悪影響を無くすため、バルク貨物を人工島へ移転する計画とする。
- ・憩い楽しめる交流空間の創出のため、緑地や人工海浜を計画する。
- ・港内における水質浄化機能向上のため、人工島に人工干潟を計画する。



## 港内静穏度の確保

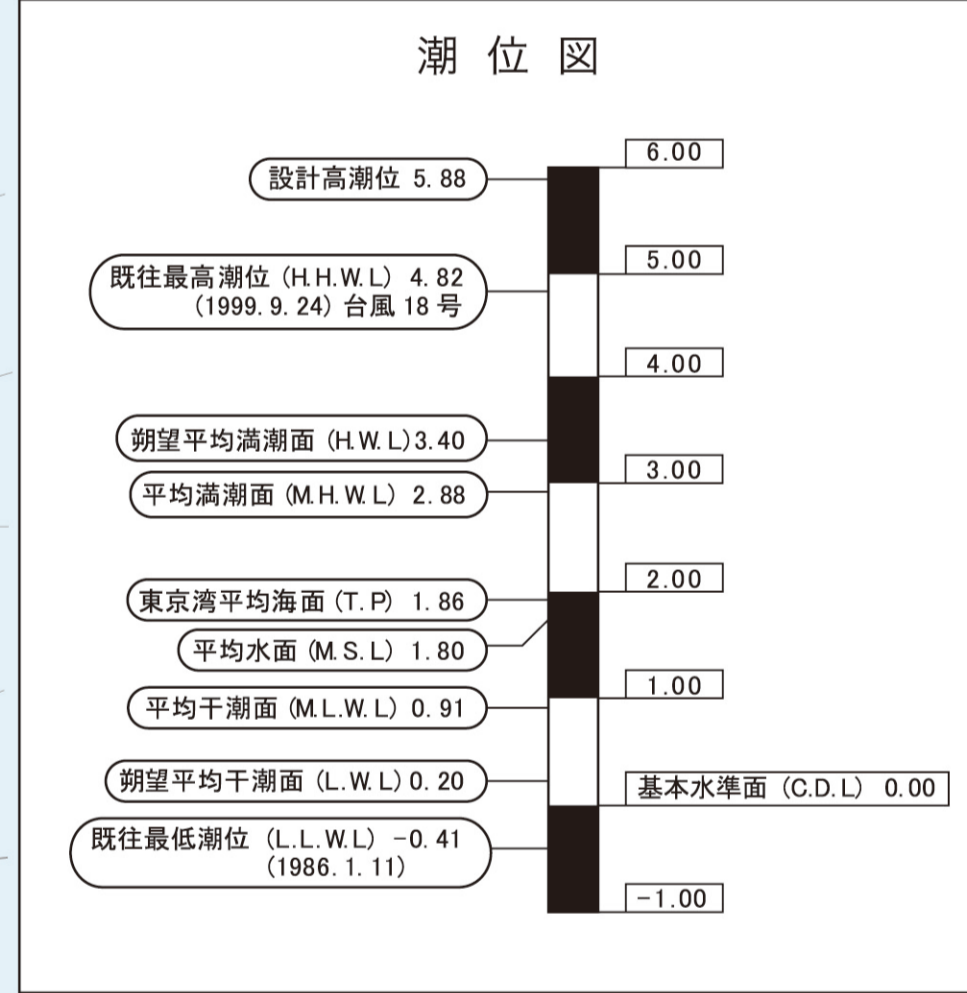
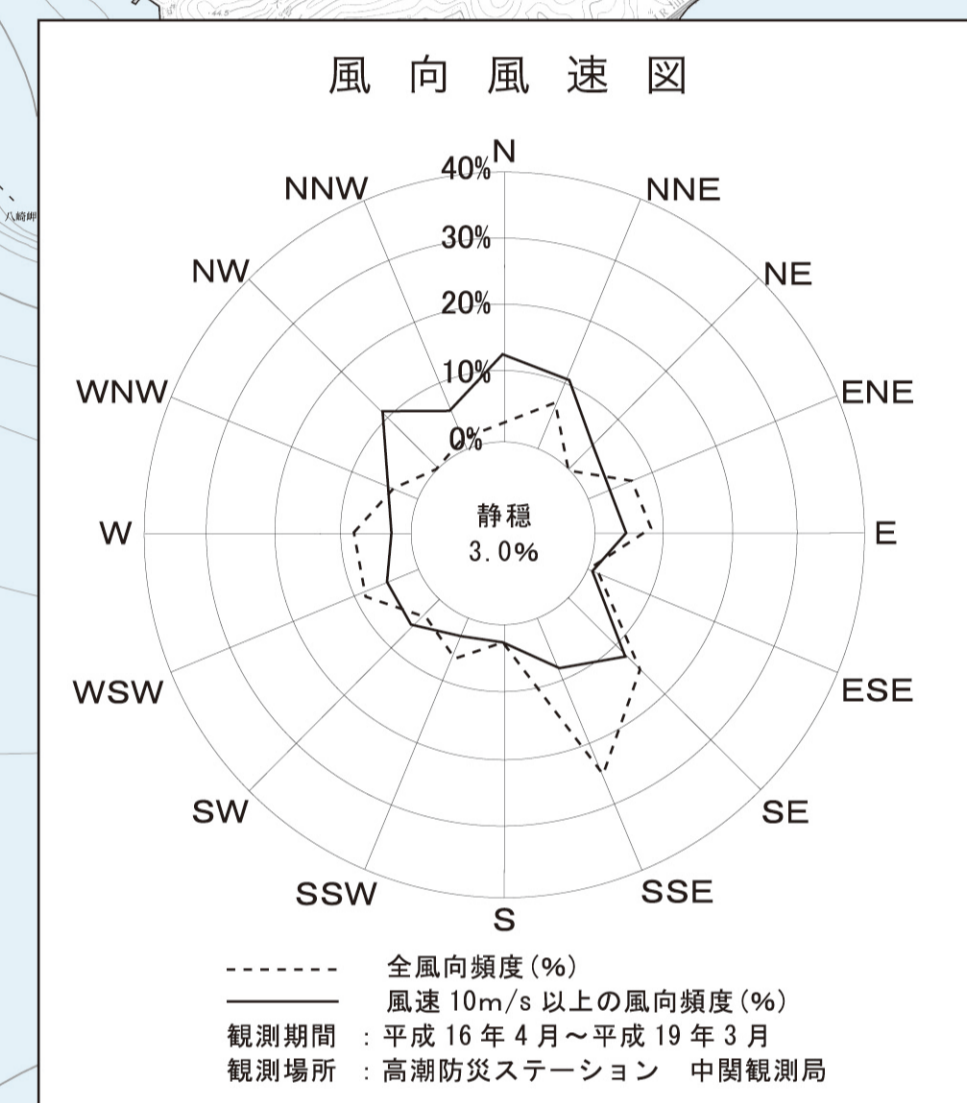
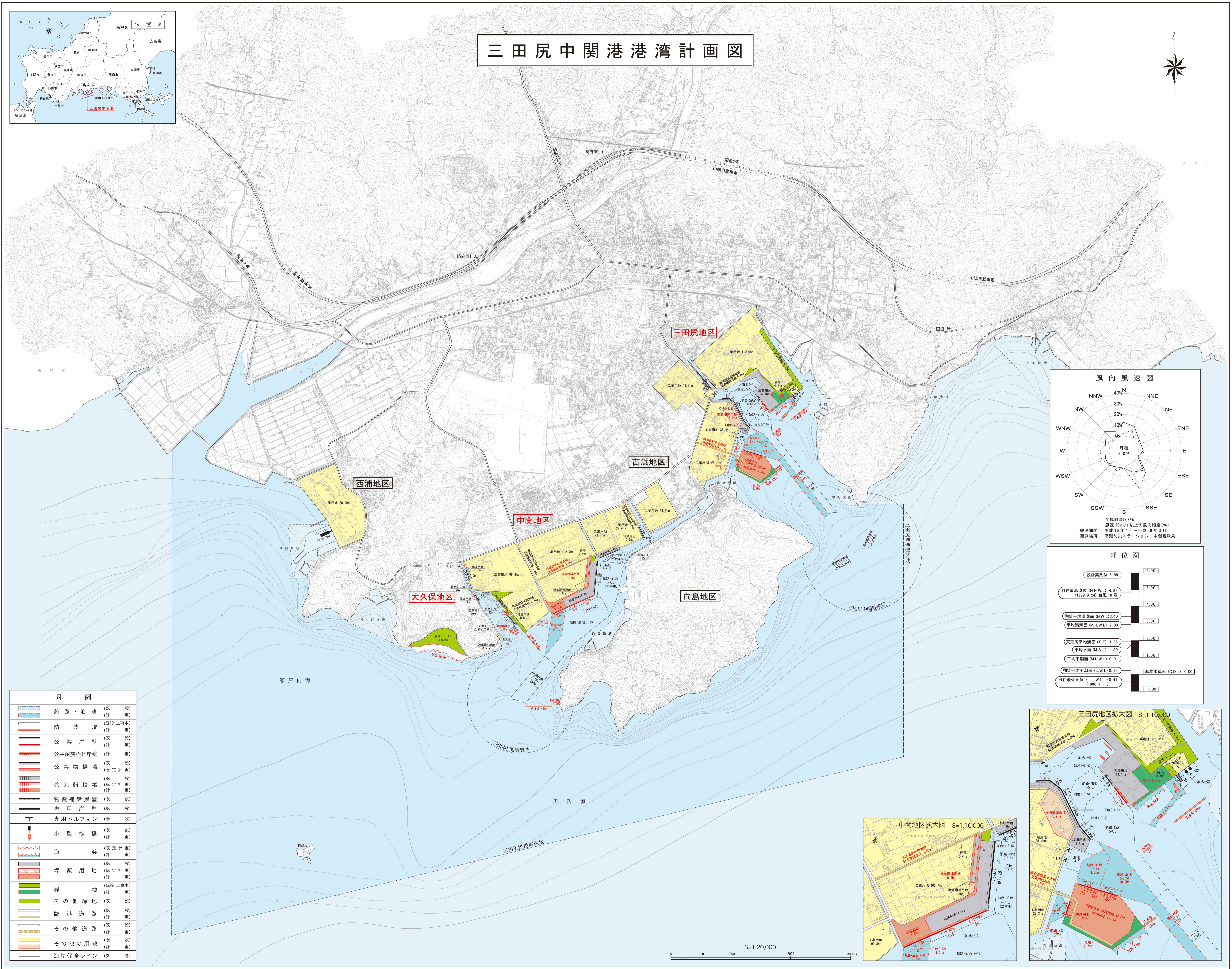
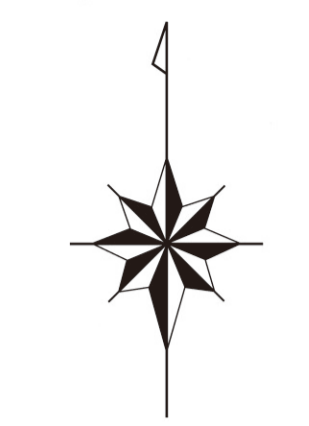
- ・中関地区及び三田尻地区における港内静穏度の確保、所定の荷役稼働率達成のため新たに防波堤を計画する。



- 発生している支障例
- ✓うねりにより離着岸に時間を要する
  - ✓うねりによりタグボートが必要となる
  - ✓海水が完成自動車等にかかる
  - ✓船体の上下動により荷役作業が中断される

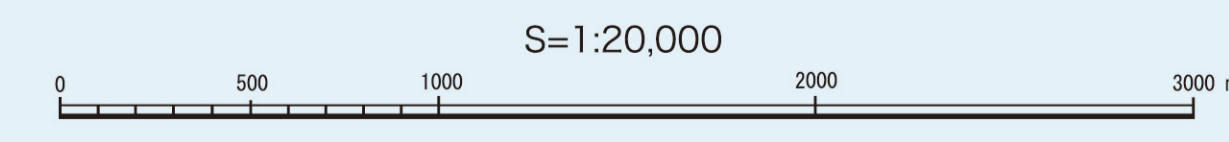
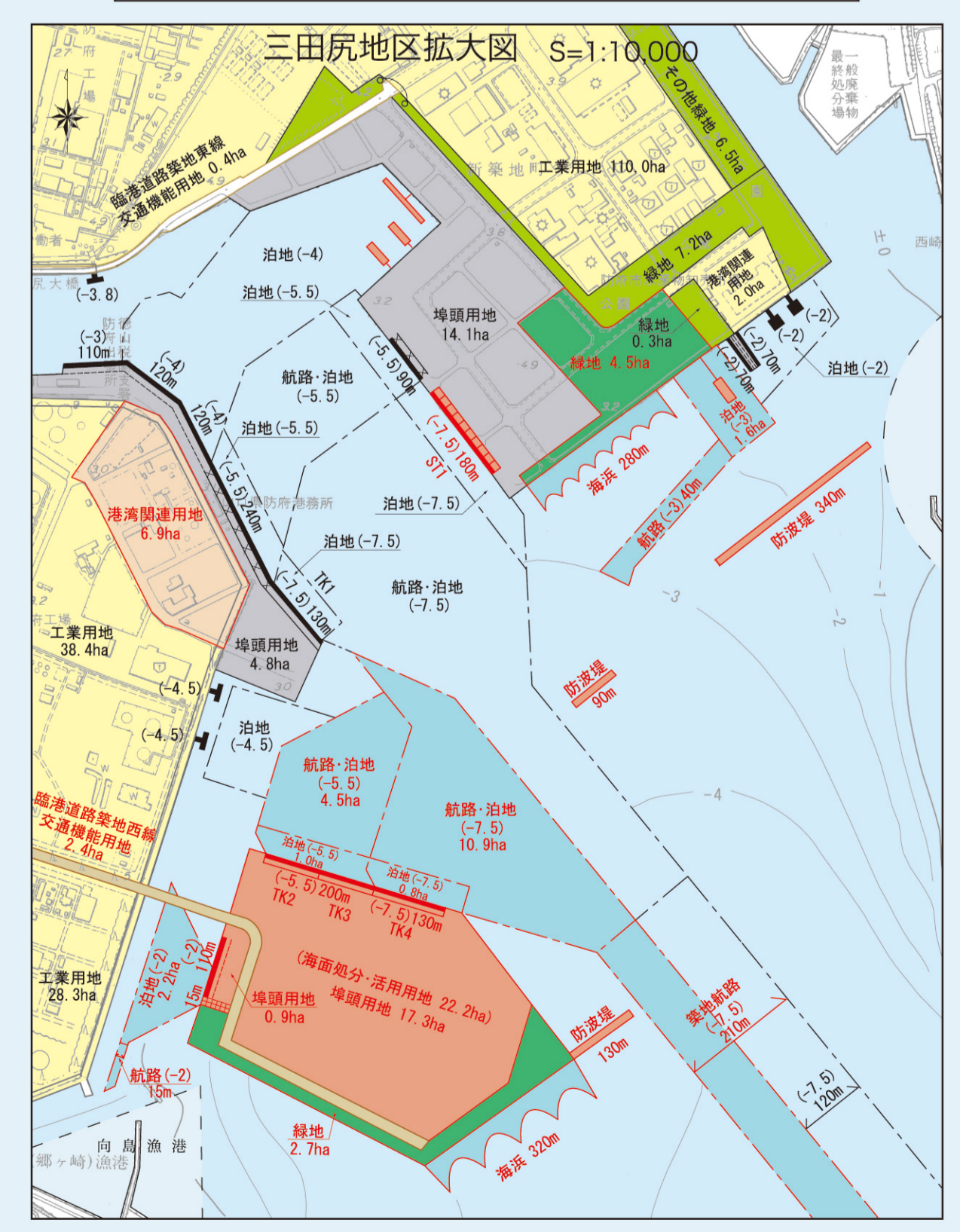
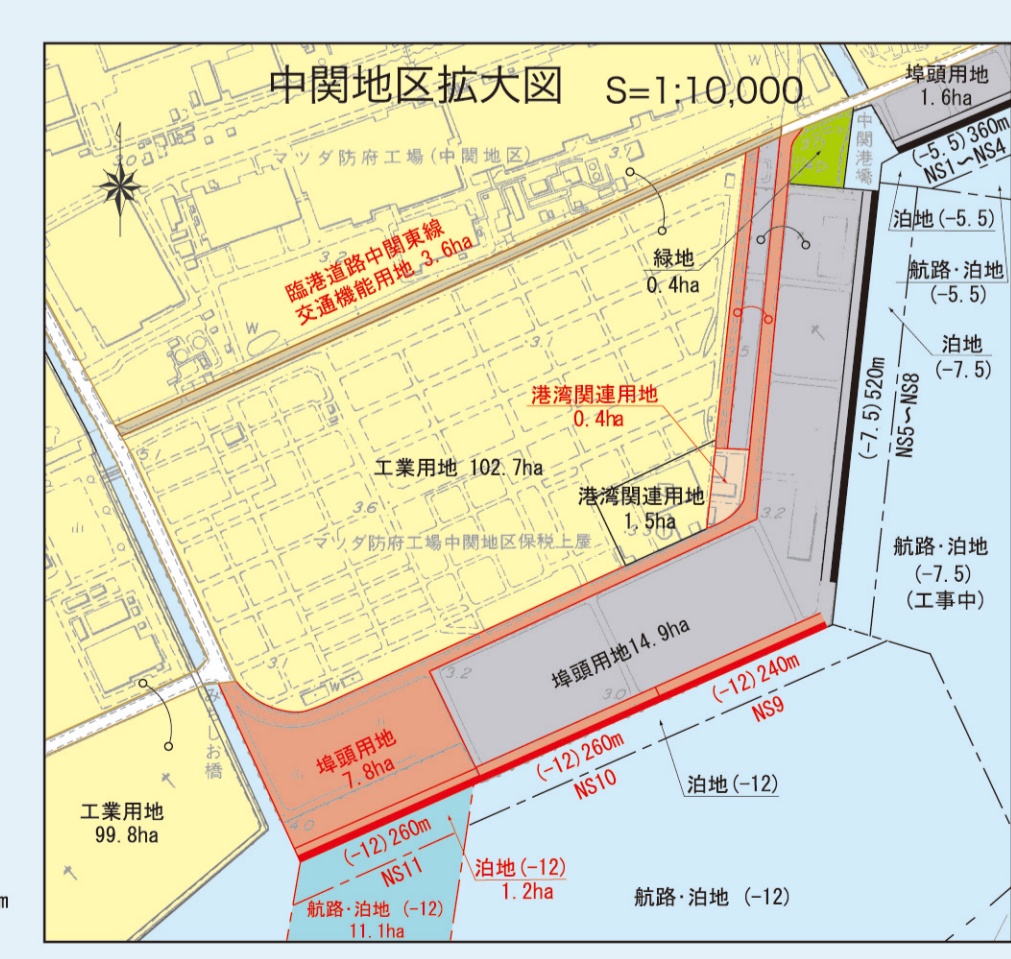


# 三田尻中関港港湾計画図



凡例

	航路・泊地 (既設)
	(計画)
	防波堤 (既設・工事中)
	(計画)
	公共岸壁 (既設)
	(計画)
	公共耐震強化岸壁 (計画)
	公共物揚場 (既設)
	(既設・計画)
	公共船揚場 (既設)
	(既設・計画)
	物資補給岸壁 (既設)
	専用岸壁 (既設)
	専用ドルフィン (既設)
	小型桟橋 (既設)
	(計画)
	海浜 (既設)
	(計画)
	埠頭用地 (既設)
	(計画)
	緑地 (既設・工事中)
	(計画)
	臨港道路 (既設)
	(計画)
	その他の道路 (既設)
	(計画)
	その他の用地 (既設)
	(計画)
	海岸保全ライン (参考)



交通政策審議会第二十七回港湾分科会資料平成十九年十月

三田尻中関港港湾管理者 山口県